

盈進小学校の英語教育について

五島市は離島であることから、外国の文化や言語にふれる機会があまりありません。しかし、世界は急速にグローバル化が進んでいます。そこで、五島市では、グローバル社会で通用する力を身につけるために、1年生からの早期英語教育に取り組んでいます。

盈進小学校では、担任（専科）とALTが協力して授業を進めています。知っている単語や表現を使ってゲームをしたり、ジェスチャーを交えながら伝えたりすることで、低学年のうちから楽しく英語に慣れ親しんでいます。

盈進小学校の英語教育の流れ

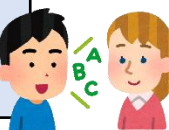


英語教育の成果と課題



【成果】

- 授業以外でもALTに話しかけたり、昼休みに遊びに誘ったりして、積極的にコミュニケーションをとろうとしている。
- 完璧でなくても、英語を使って伝えようとする姿が見られる。簡単な英語で反応できる児童も増えた。
- 高学年は、慣れ親しんだ単語を読んだり、簡単な文を書き写したりすることができるようになってきている。



【課題】

- 英語に対する苦手意識をもつ児童が少数見られる。
- 自信のなさから小さな声になったり、活動に消極的になったりすることがある。
- 英語を日本語に訳して考えたり、カタカナで表記したがったりする傾向がある。

<地域の方の声>

低学年から楽しく英語を学習しているようで、いいですね。



意欲的に外国語・外国語活動の学習に取り組んでいる

